

## 「ラッキィ池田さんと一緒に踊って憲法を学んじやおう！」 イベントを開催しました

大阪弁護士会 会員 本田 千尋

平成28年4月2日午後3時から、大阪弁護士会館2階ホールにて、振付師のラッキィ池田さんと一緒に踊って憲法を学ぼうという市民向けイベントを開催しました。

主催は大阪弁護士会、共催は日本弁護士連合会、近畿弁護士会連合会、明日の自由を守る若手弁護士の会です。土曜日午後の開催ということで、赤ちゃんから小学生、そして大人まで総勢266名が集いました。

開会の挨拶は、前日の4月1日に就任されたばかりの山口健一会長と、田渕学副会長が、それぞれジバニャンとコマじろうの着ぐるみで登場。子どもたちはジバニャンたちが登場してテンションが上がります。大人も「え?大阪弁護士会の会長が着ぐるみ?」と一気に和やかな雰囲気になりました。



▲ゲラゲラポーで挨拶をする(右から)ラッキィ池田さん、橋本智子弁護士、武井由紀子弁護士

「ラッキィさーん!!!」という子どもたちの大きな掛け声で、いよいよラッキィ池田さんが登場です。

まずは「ゲラゲラポー」でご挨拶。

そして、ラッキィさんは、案内役となる橋本智子弁護士(大阪弁護士会)を「トモベン」と、武井由紀子弁護士(第一東京弁護士会)を「ユキベン」と命名。



▲会場の様子

「ようかい体操第一」の音楽が流れると、子どもたち(もちろん大人も)は立ち上がって、元気に踊ります。



▲クイズに元気に答える参加者ら

曲が終わると、トモベンが「私たちがこうやって自由に好きに踊れるのはどうしてだと思いますか?」

という問いから、さっそくクイズが始まります。

「この国の『主役』って誰だと思いますか?」(トモベン)、「ジバニャンです!」(ラッキィさん)、「ちがいます!」(トモベン)、というように掛け合いが始まり、ラッキィさんが「じゃあ、誰だろう?みんなわかる?」と聞くと「国民!」と元気に答える子どもの声。

トモベンとユキベンは、スライドを使いながら、「立憲主義」や憲法に何が書いてあるかを解説します。

居住・移転の自由を学んだラッキィさんが「僕たちは火星にも住めるんだ」と言って「宇宙ダンス」が始まり、「宇宙ダンスを踊ったからみんなの指が11本になってる」と強弁するラッキィさんに子どもたちから突っ込みが入ります。ラッキィさんは「10人のインディアン」を歌ってみますが、子どもたち



▲憲法早口言葉で「平和主義」のポーズ(手でハトを表現)をとるラッキィ池田さん

に見破られてしまいました。

踊ったあとは、勉強にもどり、「民主主義」「平和主義」の解説です。

そして「みんなちがってみんない」という「わたしと小鳥と鈴と」を皆で歌い、憲法は「個人の尊重」を一番大事にしていることをユキベンは解説。

ラッキィさんは「妖怪早口言葉」を憲法に応用して「憲法早口言葉」(「立憲主義、民主主義、平和主義!」を早口で)を振りを交えて紹介。皆で早口言葉に挑戦です。

その後も、「地球人」「手裏剣戦隊ニンニンジャー」「妖怪体操第二」などの踊りを交えつつ、「集团的自衛権」や「緊急事態条項」の問題点について学びます。「集团的自衛権」は流行語大賞になったこともありますが、基本に戻って集团的自衛権と個別的自衛

権の違いが分かるクイズから始まり、解釈改憲に大多数の憲法学者や弁護士が問題視している理由、そして多くのママらが心配している徴兵制についても解説がありました。「緊急事態条項」は自然災害があったときに必要になるという意見もあるけれど、大きな自然災害を経験した5つの県の弁護士会をはじめ、全国で17の弁護士会が緊急事態条項はいらぬという声明を出していることの紹介がありました。

ラッキィさんは、永六輔さんがラジオ番組で憲法の全文(「前文」の誤記ではありません。前文から103条まで全てです)を朗読されたことを挙げて、永六輔さんは「憲法は僕たちの夢なんです。夢は守らなきゃいけない。子どもたちに伝えなきゃいけない。」と話されていたことを紹介。そして「僕、けんぼう体操ったんだ。憲法を忘れないように簡単な体操にしたよ!」と、「けんぼう体操」を披露。

最後に、皆で「ラジオ体操第一」の曲に合わせて「けんぼう体操」を踊り、熱気にあふれた集会が終わりました。

今回の企画は、参加者の半数が子どもという点で弁護士会の企画として斬新で、大人の方も弁護士会に初めて来館された方、憲法の勉強会は初めてという方も多かったのではないかと感じました。

(Photo: 本田千尋)



▲ラッキィ池田さん(中央)と着ぐるみ姿の山口健一会長(左)、田淵学副会長(右)